

地点を登録する(登録ポイント)

SDメモリーカードを使って登録ポイントの保存・読み込む

本機の登録ポイントを
SDメモリーカードへ保存する

1 データメニュー(P.31)から SD読み込み/保存を選ぶ

- SDメモリーカード読み込み/保存画面が表示されます。

2 SDメモリーカードへ保存するを選ぶ

3 登録ポイントを選ぶ

4 はいを選ぶ

5 確認を選ぶ

- 本機の登録ポイントが全て保存されます。
- 出力先フォルダ: IMEXPORT
- 保存されるファイル名: (日付_時刻).ptf
例: 20110801_120000.ptf
- 自宅は、自宅の登録ポイントとして保存されます。

SDメモリーカード内の 登録ポイントを本機に読み込む

SDメモリーカードへ保存した登録ポイント(左記)を本機に読み込みます。(拡張子 ptf)

1 SDメモリーカード読み込み/保存画面(左記)からSDメモリーカードから読み込むを選ぶ

2 登録ポイントを選ぶ

3 登録ポイントのファイルを選ぶ

4 読み込む登録ポイントを選ぶ

- 全ポイント読み込:
全ての登録ポイントの読み込

5 はいを選ぶ

6 確認を選ぶ

お知らせ

- 登録済みのポイントを読み込むと、同じ地点に複数のポイントが登録されます。不要な場合は消去してください。
- 保存日の古い順に登録ポイントを読み込みます。本機の登録件数が400件を超えると読み込みは中止されます。
- 本機ですでに自宅を登録済みの場合に、自宅として保存された登録ポイントを読み込むと、自宅としてではなく通常の登録ポイントとして読み込みます。
- 保存した登録ポイントに、表示できるマークがない場合は、で表示されます。
- 別のナビゲーションで保存した登録ポイントのファイル(拡張子 pmf)も、SDメモリーカードの直下(ルートフォルダ)に保存すると、本機に読み込むことができます。

迂回したいエリアを登録する(迂回メモリー)

迂回メモリーを登録する

迂回したいエリアや地点を登録しておくと、そこを回避するルート探索ができます。(最大10カ所まで)

- 登録された迂回エリア/地点は、地図画面上に  (黄色の枠) /  で表示されます。
- ルートが設定されている場合(ルート案内中止時を含む)は、登録後ルートを再探索します。

1 データメニュー(P.31)から 迂回メモリーを選ぶ

- 迂回メモリー画面が表示されます。

2 登録を選ぶ

3 迂回したいエリアを表示させる

- 検索のしかた→P.55~60
- おでかけスポット:
おでかけスポットから検索
- 現在地: 現在地を表示
- 地図: 最後に表示していた地図を表示

4 決定を選ぶ

5 広く/狭くでエリアを変更し、 決定を選ぶ

- リモコン操作:
 広く  狹く  決定
- エリアを最小にすると、 となり、迂回地点として登録されます。
- 迂回メモリーのエリアは、最大12.8 km × 12.8 kmまでです。
- 地図は、縮尺のみ変更できます。

6 完了を選ぶ

お知らせ

- 迂回エリア/地点の設定が「無効」(右記)の場合、ルート探索に考慮されません。
- 下記の場合は、迂回メモリーを通るルートが探索されます。
 - ・迂回メモリー内に自車や目的地がある。
 - ・目的地までが一本道などで、迂回メモリーを回避できない。
- 迂回エリア内の高速道路は、迂回対象になりません。高速道路を迂回するルートを探査するには、エリアを最小(迂回地点)にして、高速道路上に設定してください。

迂回メモリーを消去する

一度消去するとともに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。

1 迂回メモリー画面(左記)から 消去を選ぶ

2 迂回メモリーを選ぶ

- 全消去: 全ての迂回メモリーを消去

3 はいを選ぶ

迂回メモリー情報を修正する

1 迂回メモリー画面(左記)から 修正を選ぶ

2 迂回メモリーを選ぶ

3 項目を選び、修正する

設定項目	操作
ルート探索に考慮させる(有効)/させない(無効)を選ぶ	有効/無効を選ぶ
名称を入力する	名称を選ぶ
名称を地図上に表示する/しないを選ぶ	する/しないを選ぶ
場所を変更する	位置を選ぶ
迂回エリアを変更する	広く/狭くでエリアを変更し、決定を選ぶ

4 完了を選ぶ